

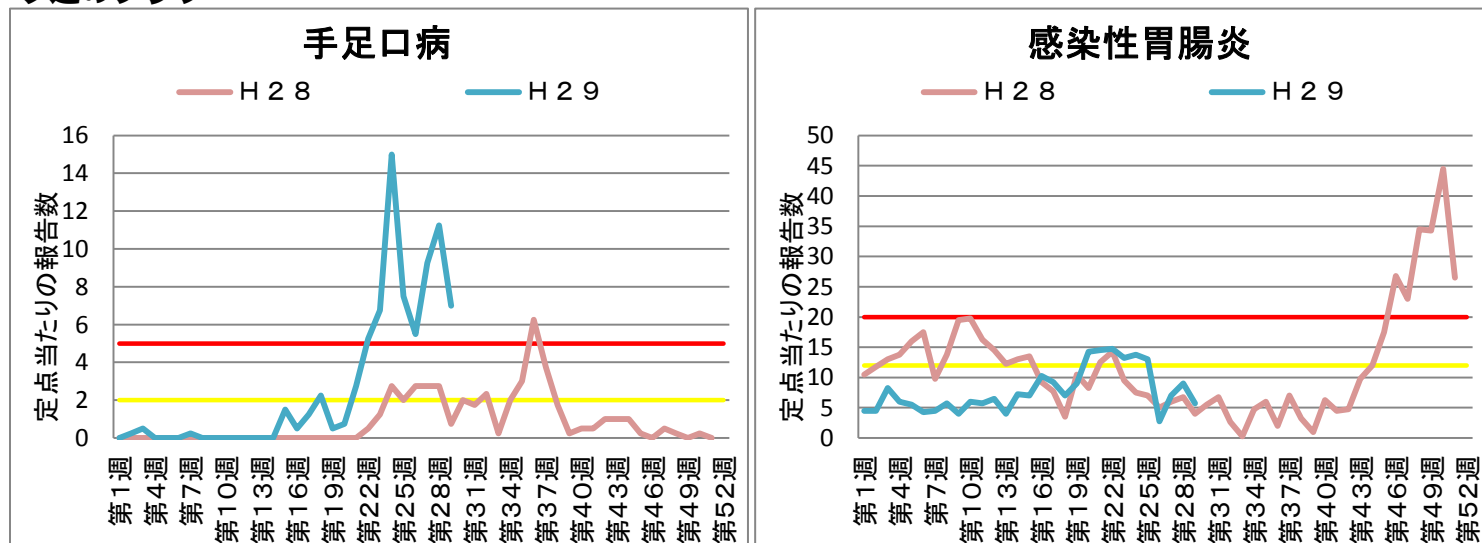
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 29 週 平成29年7月17日 ~ 平成29年7月23日

今週のコメント

- 手足口病の報告は低下しましたが、流行警報レベルが続いています(定点あたり7.0)。
- 夏休みに海外旅行に行かれる方は、「夏休みにおける海外での感染症予防について(厚生労働省)」をご覧ください。http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html
- 夏は蚊やダニの活動が盛んになる季節です。蚊やダニが媒介する感染症から身を守るためには、蚊やダニに咬まれないことが大切です。屋外で活動する時は、肌の露出を少なくし、虫よけ剤を使用しましょう。
- ダニの一種であるマダニは、重症化すると生命にかかわる重症熱性血小板減少症候群などを媒介します。森林地帯などに入る場合は、マダニに咬まれないように、長袖・長ズボンを着用し、足を完全に覆う靴を履きましょう。<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	7
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	-	突発性発しん	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.25	百日咳	-
感染性胃腸炎	5.75	ヘルパンギーナ	0.25
水痘	0.25	流行性耳下腺炎	0.5

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

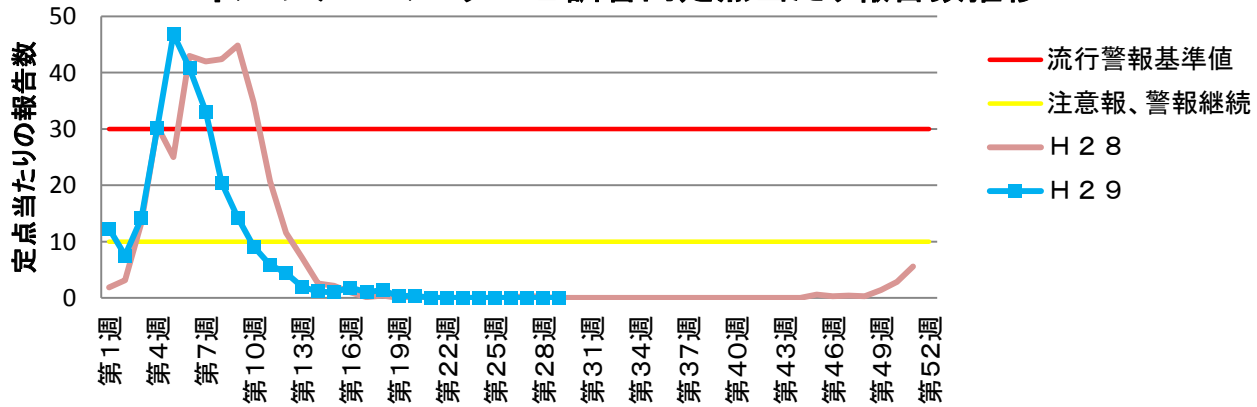
報告週対応表

警報・注意報基準値の説明

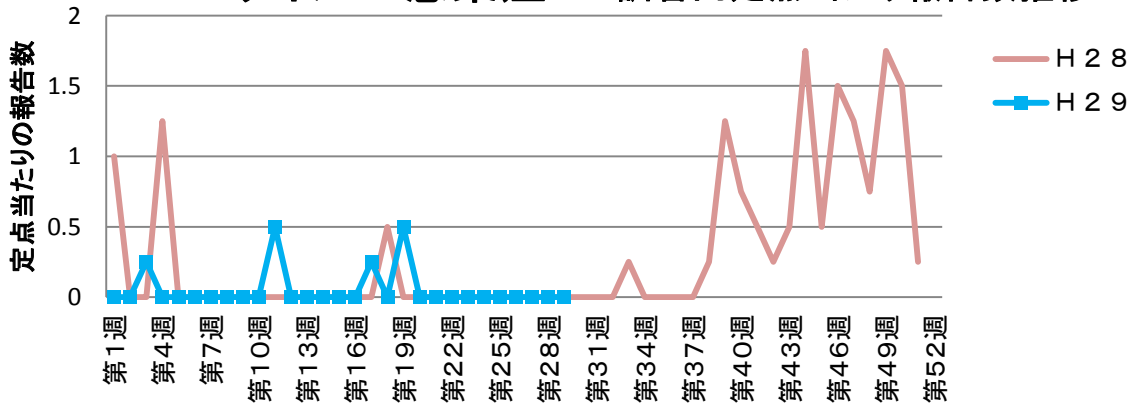
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

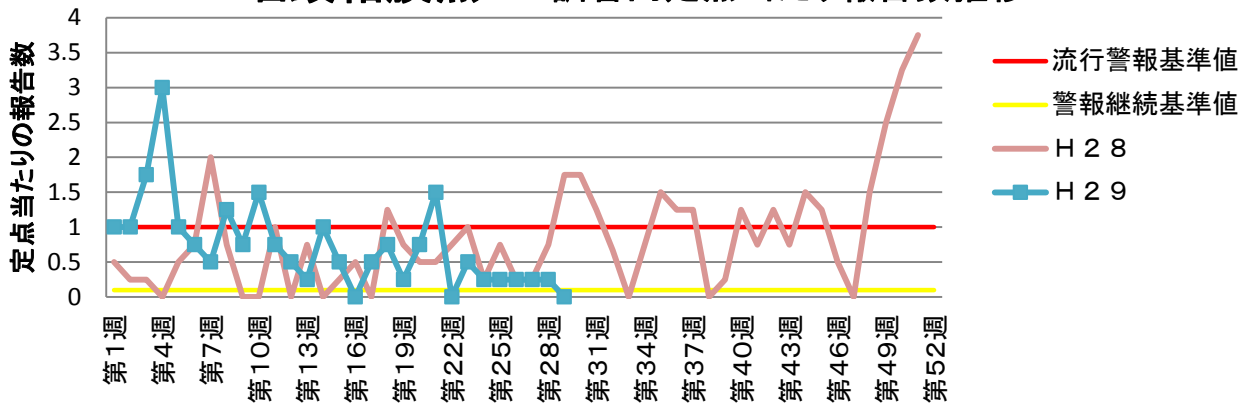
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



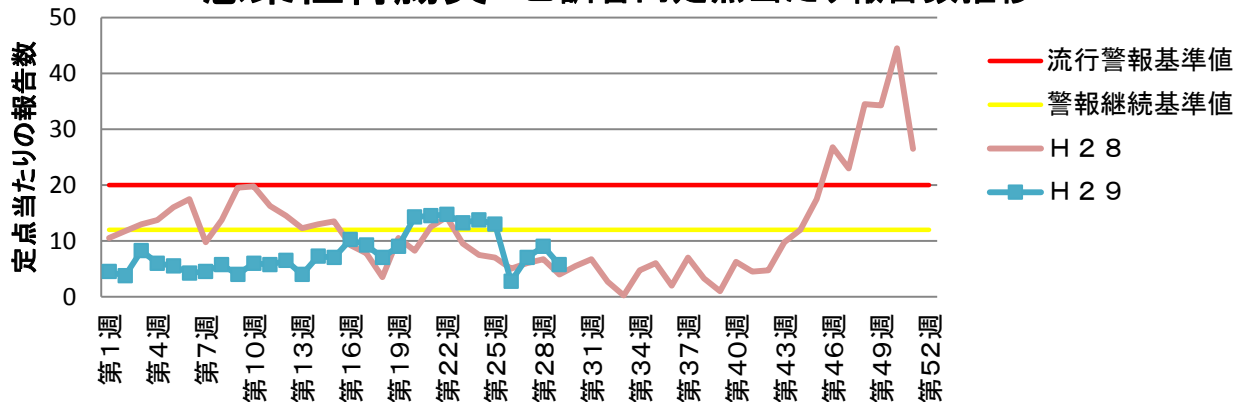
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



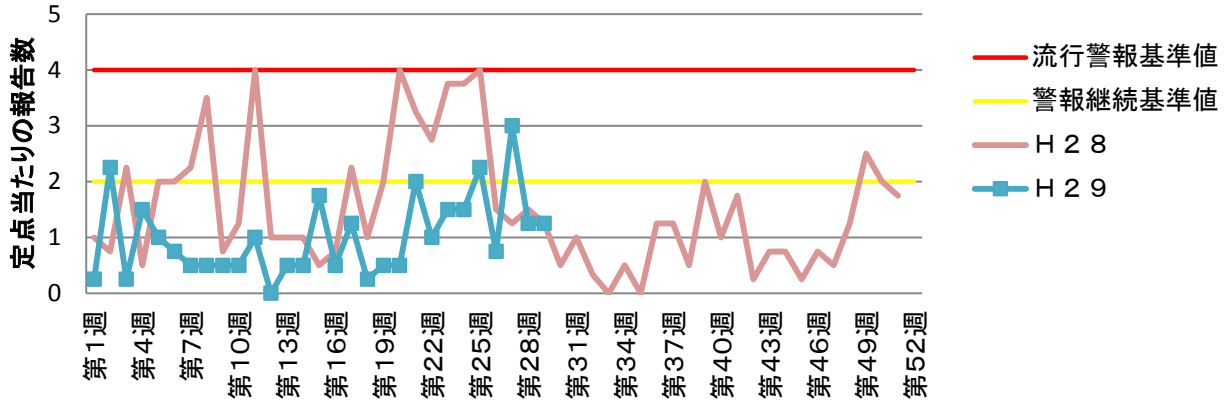
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



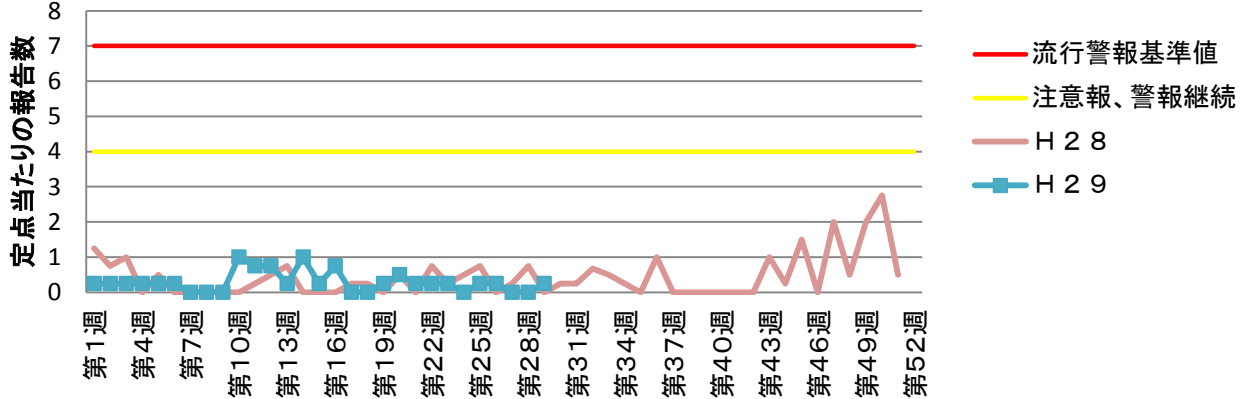
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



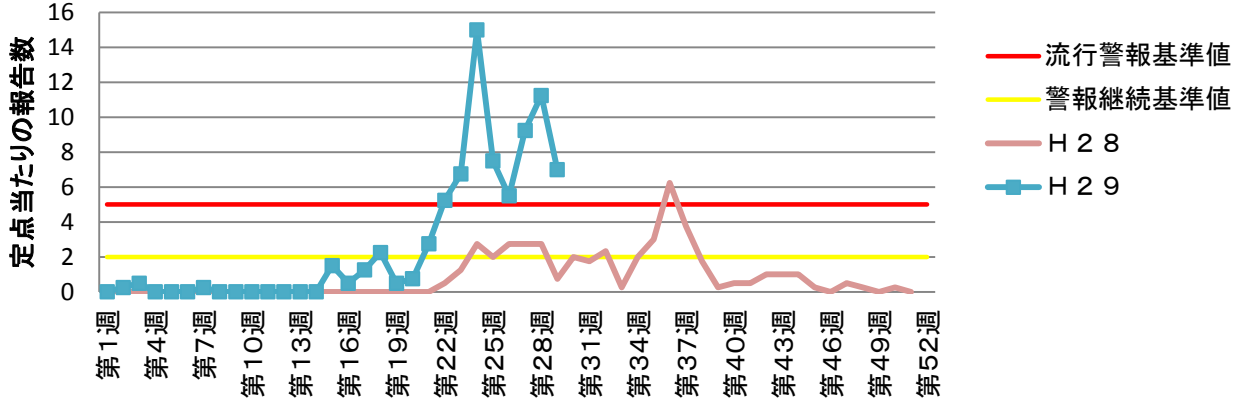
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



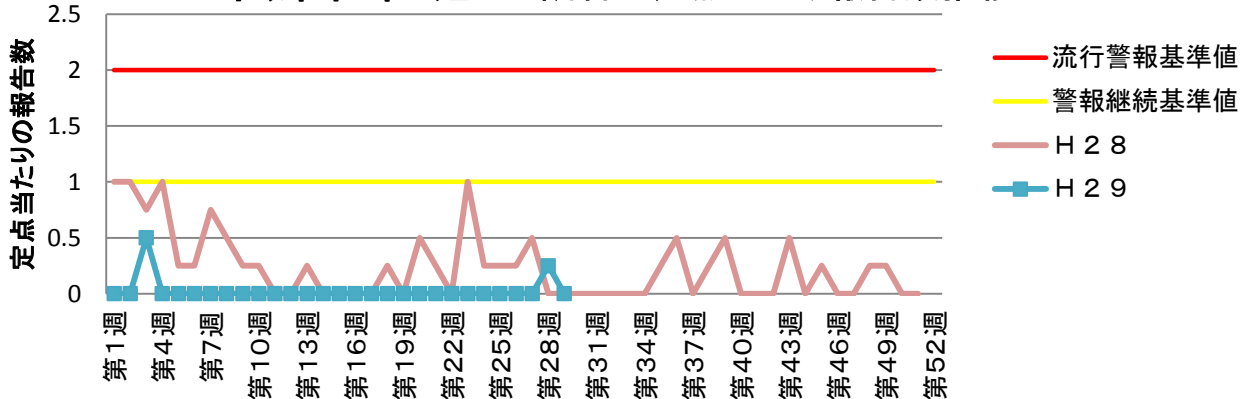
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



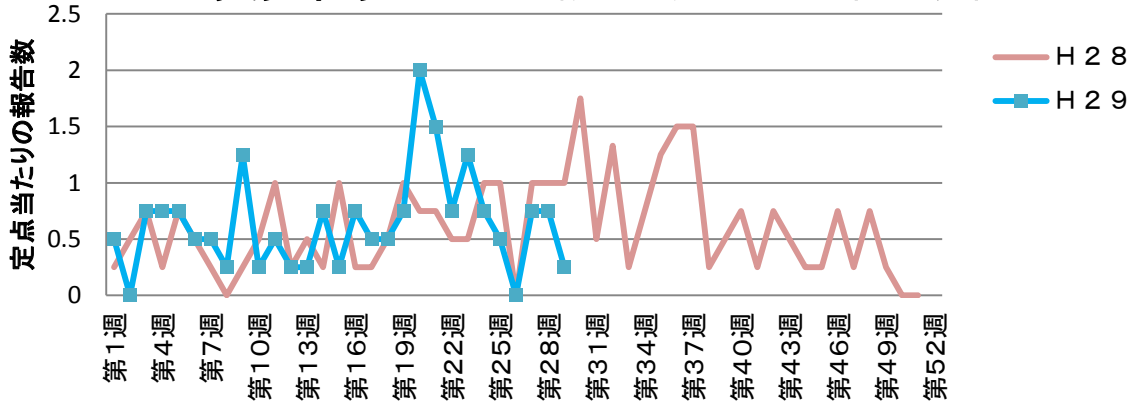
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



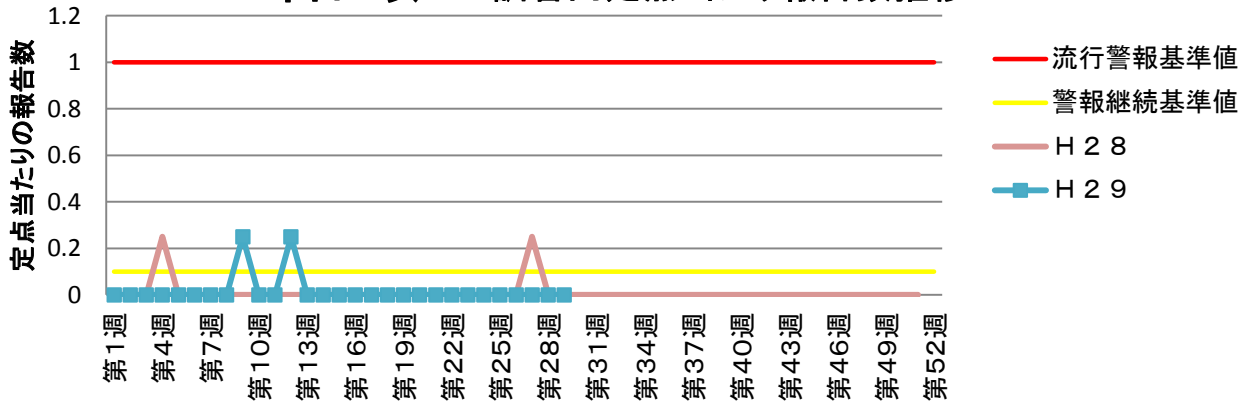
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



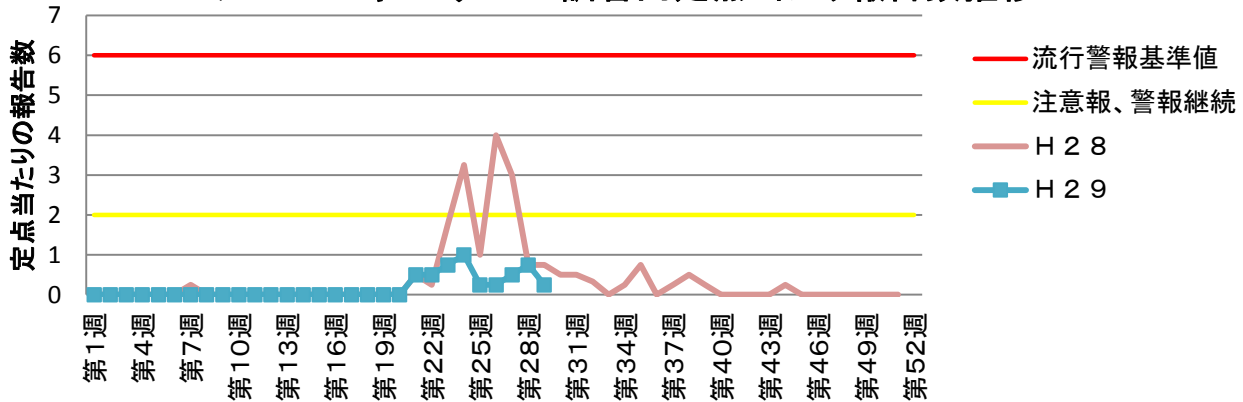
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

